

地域の皆さんのよりよい暮らしのために

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、昨年に続き夏祭りが中止となるなど、人が集まる主要な行事の自粛を余儀なくされていますが、行事やイベント以外でも、これまで町会・自治会は地域のための活動を行ってきました。ここでは、その活動の一部をご紹介します。

感染症対策

感染症への注意喚起や感染症対策物品の配布など、地域のためにできることを模索し、創意工夫を凝らしながら活動を継続しています。



注意喚起チラシとマスクなどを配布
(南田園三丁目町会)



非常食・指定ごみ袋を配布
(福生加美平住宅自治会)



注意喚起チラシ(武蔵野町会)

総会を開くことができない中でも、感染症対策を徹底したうえで役員会議などが行われています。財源負担軽減を図るため、感染症対策物品の購入には東京都の助成金を一部活用しています。



会議にアクリルパネル(矢印)・非接触型体温計・消毒スタンドを使用
(長沢町会)



体温計測と手指消毒の様子
(志茂第二町会)



空気清浄機を設置して会議を実施(加美町会)



デジタル化を見据えたタブレット端末の導入(熊川牛浜町会)